

海神が現れる

大西 健太郎

真つ青な空にぽっかりと

太陽が見つめる雲のあとさき

浮かない気分の嫌な予感

カイカイジンジン イヤナツカーン

わたしの背中におぶさる鉛

知らない間にやってくる

どこから ともなく いつから ともなく

カイカイジンジン イヤナツカーン

わたしが立とうとすれば お前はもつと重くなる

わたしがお前を突き放せば こうべをたれてうすら笑う

つくづくうんざりしたものさ

でも今は わたしが沈みゆく鉛

ひとつ 頼みをきいてくれ

カイカイジンジン イヤナツカーン

目と目を一緒に閉じてくれ

カイカイジンジン イヤナツカーン

少しの間でいいからさ

カイカイジンジン イヤナツカーン

カイカイジンジン イヤナツカーン

今日は ちよっぴり寂しい日